

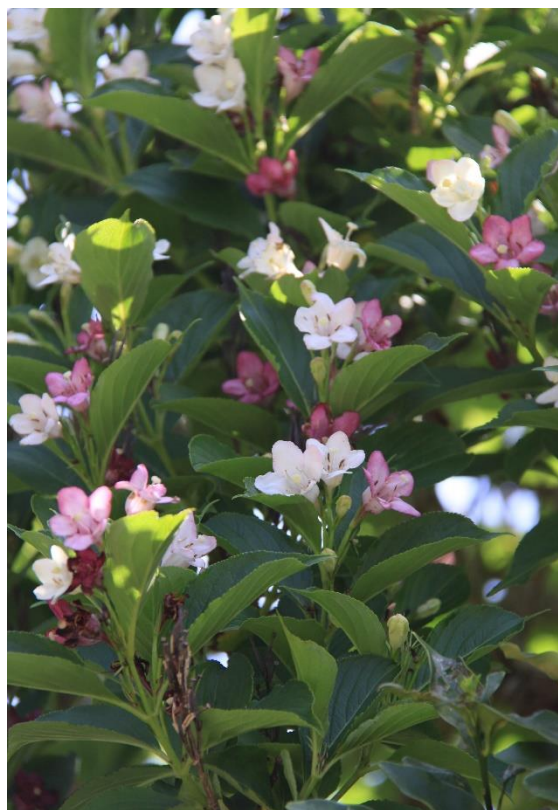
【樹木の部屋】

ハコネウツギ(スイカズラ科タニウツギ属 Weigela coraeensis)

和名：箱根ウツギ **別名**：ベニウツギ **英名**：

マツムシソウ目 落葉・低木 **原産地**：日本

花言葉： 移り気 **花の色**： 白、桃、赤



← 写真-1 ハコネウツギの樹姿
撮影日：2015 年 05 月 17 日
撮影場所：山辺の道～桜井市にて
撮影者：M さん



→ 写真-2 ハコネウツギの花
撮影日：2010 年 06 月 08 日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：M さん

写真 1 は、桜井市の山辺の路を散策中に見かけました。道路沿いの畑の中で咲いていました。写真 2 ご近所の庭先に咲いていました。わが国の固有種で、各地に分布しています。海岸に近い山地に生えるそうで、箱根の名前が冠されていますが、箱根では低地にわずかに自生するだけだそうです。

見た目には、白花と赤花の混合のように見えますが、花色が最初は白、次第に、白→ピンク色→赤色になっていく植物です。酷似した花に、ニシキウツギが有ります。ニシキウツギも同様に、白花から赤花に変化する植物です。同じように花色が変化する植物に、身近な植物ではスイフヨウもあります。

ハコネウツギとニシキウツギの違いですが・・・。チョット見では非常に見分けがつかない植物です。調べてみると、以下のような違いが有るそうです。

ハコネウツギは太平洋側沿岸部海岸に多く、ニシキウツギは太平洋側沿岸部山地に多いとされています。が・・・他に、花の特徴として、

ハコネウツギ：

花は花冠基部から突然広く膨れ釣鐘状になる。

ハコネウツギの花柱は花冠の外に出ることはない

ニシキウツギ：

花は、花冠基部から漏斗状になだらかに膨らむ

ニシキウツギの花は花柱が花冠の外に突き出る

<ちょっと一言>

ニシキウツギ(スイカズラ科タニウツギ属 *ChionWgela decora*)

別名：二色空木 **英名**：

アオイ目 落葉低木 **原産地**：日本

花言葉：豊麗、豊穰 **花の色**：白

スィフヨウ(アオイ科フヨウ属 *Hibiscus mutabilis Versicolor*)

別名：酔芙蓉 **英名**： **原産地**：日本、中国

花言葉：幸せの再来、心変わり、繊細な美

花の色：白、桃、赤

フヨウ(芙蓉)の園芸種で、八重咲き

花柱：

雌蕊の一番先端部を柱頭(ちゅうとう)といい、花粉が付着するところ。そしてこの柱頭と子房をつなぐ柄のような部分が花柱(かちゅう)。